

かめっ子だより No.157

令和7年12月18日
八尾市立亀井小学校
校長 柴山 八寿夫

助産師さんをお招きし、生命について学ぶ！

助産師さんをゲストティーチャーとしてお招きし、4日(木)の3・4時間目は4年生全体で、9日(火)の3・4時間目は2年生2クラスずつ1時間毎に、「命の授業」をしていただきました。

みんなの命、とっても大切！ 4年生

「プライベートゾーン」についてや「赤ちゃんはどうやって生まれるの」をテーマに、自分たちの体や生命の不思議について、スライドや人形などを使いながら分かりやすく教えていただきました。

また、自らの命を大切にすることについてもお話ししていただきました。自分たちの体の成長や、赤ちゃんが生まれるまでの過程など、実際に数多くの出産に立ち会われている助産師さんからのお話は、とても心に残ったことでしょう。かけがえのない命として生まれ育ってきた自分自身を大切にしてほしい、命の大切さについても学ぶ機会になり、とても貴重な授業となりました。

二人の男女がめぐりあい、そこから一人の「いのち」が生まれる確率は、250兆分の1と言われています。私たちの命が誕生したことは、まさに奇跡の中の奇跡。奇跡のような確率の中、大きくなった自分を大切にするとともに、同じように友だちのことも大切にできる4年生になってほしいと願っています。

生まれててくれてありがとう！ 2年生

2年生も4年生と同じ助産師さんをお招きし、「命の授業」の出前授業をしていただきました。子どもたちはみんな真剣に話を聞き、命の大切さについてたくさん考えていました。

命の始まりである受精卵の大きさは、砂一粒よりも小さいものだということを知り、時間が経つにつれ大きくなっていく様子を、パネルや人形を使って教えていただきました。小さな命が、徐々に人間の身体になっていくことは本当に神秘的ですね。

また、お母さんのお腹の中にある「羊水」のことや、お母さんと繋がっている「へその緒」のことなども子どもたちはよく知っていました。助産師さんも「よく知ってるねえ」と驚かれていました。

今回の学習を通して、子どもたちが「自分のいのち」や「周りの人のいのち」を大事にできる人に育ってほしいなあと心の底から思いました。

